2006 年 8 月 1 日
富士通株式会社

移動体通信分野の提携形態の変更について

当社はこのほど、アルカテル(本社:フランス、会長兼 CEO:セルジュ・チュルク)と 3G W-CDMA 移動無線システムビジネスにおける提携形態の変更に合意しました。当社は 2000 年 11 月に、アルカテルと 3G W-CDMA 移動無線システムの開発を目的として、合弁会社「エボリウム SAS」を設立しました。その後、エボリウム SAS は最先端の W-CDMA 移動無線システムの開発に成功し、現在、同システムは世界中の数多くの移動体通信事業者様のネットワークで稼動しています。今回の合意にともない、当社は保有するエボリウム SAS 株式をアルカテルに譲渡し、エボリウム SAS はアルカテルの 100%子会社となります。当社は従来どおりアルカテルとの W-CDMA 移動無線製品の開発とビジネスでの緊密な協力を継続し、お客様のニーズに応えてまいります。

【 エボリウム SAS の概要 】

1. 社　名　　: エボリウム SAS (Evolium SAS)
2. 会　長　　: マーク・ルーアン (Marc Rouanne) (現アルカテル移動通信部門社長)
3. 所在地　　: フランス ベリジー
4. 出資比率　: アルカテル 66%、富士通 34%
5. 事業内容　: W-CDMA 方式および GSM 方式の移動通信無線システムの開発およびサポート
6. 株式譲渡時期: 2006 年 7 月 31 日

以　上

《本件に関するお問い合わせ先》
広報 IR 室　小川、坂本
電話 : 03-6252-2175(直通)
お問い合わせフォーム : http://pr.fujitsu.com/jp/news/q.html